

一般社団法人 日本森林学会

2023 年度（令和 5 年度）第 4 回理事会・連携学会長合同会議 議事録

日時：2023 年 12 月 4 日（月）13:30～17:30

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟 1 階会議室 1, Web 会議システム（Microsoft Teams）を併用して開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）太田祐子，正木 隆，連携学会長）渋谷正人，山本信次，長池卓男（会長代理），戸丸信弘，岡 輝樹，塔村真一郎，理事）陣川雅樹，伊藤 哲，佐藤孝吉，溝上展也，石崎涼子，長池卓男，久保田多余子，泉 桂子，黒田慶子，船田 良，枚田邦宏，大久保達弘，小山泰弘，梶本卓也，深町加津枝，主事）宗岡寛子，山川博美，福田陽子，鶴田燃海，杉浦克明，玉井幸治，宮本尚子，長谷川陽一，櫃間 岳，園原和夏，編集部）町田庸子〔学会誌刊行センター〕，事務局）稲村崇子，オブザーバー）徳留 善幸〔林野庁〕，青木 寿〔全林試協〕

議長：丹下 健

Web 会議システム（Microsoft Teams）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

1. 「4-3 日本森林学会プライバシーポリシー」の改定

陣川理事（総務担当）より，改正個人情報保護法の施行に対応し，日本森林学会プライバシーポリシーに，個人情報の開示請求を書面で行う旨の文言を追加するとともに，個人情報の利用停止請求の手続きについて定める条項を追加する改定案が提案され，提案の通り承認された。

2. 「J-STAGE Data での論文データ公開について」の改定

長池理事（日林誌編集担当）より，電子付録と同一のデータを J-STAGE Data には掲載できなくなったことに伴い「J-STAGE Data での論文データ公開について」に必要な修正を加えることが提案され，提案のとおり承認された。

3. 「3-1 日本森林学会誌投稿規定」の改定

長池理事（日林誌編集担当）より，電子付録と同一のデータを J-STAGE Data には掲載できなくなったことに伴う「日本森林学会誌投稿規定」の改定案が提案され，提案のとおり承認された。

4. 「3-2 日本森林学会誌執筆要領」の改定

長池理事（日林誌編集担当）より，電子付録と同一のデータを J-STAGE Data には掲載できなくなったことに伴う「日本森林学会誌執筆要領」の改定案が提案され，提案のとおり承認された。

5. JFR 掲載論文の頁数基準の変更

溝上理事（JFR 編集担当）より，最近の投稿原稿の刷上り推定頁数が増加傾向にあることに対応

し、Original Article の規定頁数を 8 頁以内から 10 頁以内へ、Reviews の規定頁数を 10 頁以内から 12 頁以内に変更することが提案され、提案のとおり承認された。

6. 第 135 回大会の学会企画について

井上理事（企画担当）に代わり杉浦主事（企画担当）より、第 135 回大会において 8 件の学会企画と「第 11 回高校生ポスター発表」、「国際交流ポスター発表」を実施することが提案され、提案の通り承認された。また、学会企画のみに参加する外部講師については大会参加費を免除することが承認された。

7. 2024 年度学会各賞受賞者の決定

小杉理事（表彰担当）に代わり玉井主事（表彰担当）から、表彰委員会、JFR 編集委員会、日林誌編集委員会での日本森林学会賞、日本森林学会奨励賞、日本森林学会学生奨励賞、JFR 論文賞、日本森林学会論文賞の選考された候補者に各賞を授賞することが提案された。審議の結果、日本森林学会賞を山浦 悠一（森林総合研究所）、松井 哲哉 会員（森林総合研究所）に、日本森林学会奨励賞を山岸 極 会員（森林総合研究所）、久保 雄広 会員（国立環境研究所）に、日本森林学会学生奨励賞を猪越 翔大 会員（投稿時：名古屋大学、応募時：名古屋大学）、栃木 香帆子 会員（投稿時：東京農工大学、応募時：東京農工大学）、Akotchiffor Kévin Géoffroy Djotan 会員（投稿時：東京大学、応募時：東京大学）にそれぞれ授与することを決定した。また、JFR 論文賞を Shinsuke Koike, Kahoko Tochigi, Koji Yamazaki による論文（28 巻 1 号 64-72 頁）に、日本森林学会論文賞を志水克人による論文（105 巻 166-182 頁）にそれぞれ授与することを決定した。

8. 前回までの議事録

2023 年度第 3 回（通算第 486 回）理事会議事録、2023 年度第 3 回メール理事会議事録が承認された。

9. 次回理事会の開催日程

次回の理事会は、会場とオンラインを併用して、2024 年 4 月に開催することが承認された。

報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

1. 第 135 回大会（東京農業大学）の準備状況

佐藤理事（大会担当）より、135 回大会（東京農業大学）の大会日程、会場、公開シンポジウムの実施予定について報告された。また、予算案が示された。

梶本理事（プログラム編成担当）より、第 135 回大会の発表申し込み総数が 858 件であったこと、大会のタイムテーブル、今後のスケジュールについて報告された。

2. 連携学会からの報告

各連携学会の会長及び会長代理より、役員体制、総会・大会の開催、刊行事業、表彰制度、会員数の動向、財政状況等について報告されるとともに、会員の構成や学会運営の効率化等について意見交換を行った。

3. 総務担当からの報告

陣川理事より、第 136 回大会の準備状況、日本農学会「総会・日本農学賞選考会」の開催日程と出席者、シンポジウム等 3 件の後援依頼承認、会員動向について報告された。また、正木副会長より「図説 日本の森林」の編集進捗状況について報告された。

4. 会計担当からの報告

伊藤理事より、2023 年度半期決算が報告された。

5. 日林誌編集担当からの報告

長池理事より、投稿審査状況、J-STAGE Data におけるデータの公開状況、日本森林学会誌論文賞の選考結果、日本森林学会誌第 106 巻表紙写真の選考状況、日林誌掲載論文の著者から二次出版（同じ内容を英訳して英文誌に投稿すること）の許諾申請があったことを受けて諾否を検討中であることが報告された。

6. JFR 編集担当からの報告

溝上理事より、出版状況、特集号・Invited Review の掲載予定、JFR 論文賞の選考結果、日本森林学会員に対するオープンアクセス費用のディスカウントについて T&F 社に問い合わせたが、現在の契約ではディスカウントできない旨の返答があったことが報告された。

7. 森林科学編集担当からの報告

石崎理事より、森林科学 99 号の発行状況、100 号の発行準備状況が報告された。

8. 広報担当からの報告

正木理事より、メールマガジン 162, 163, 164 号を発行したことが報告された。

9. 企画担当からの連絡事項

井上理事に代わり杉浦主事より各理事に対して、日本森林学会総会時（2024 年 5 月）にシンポジウムを企画したい場合は 1 月末までに企画担当に知らせるよう連絡があった。

10. 表彰担当からの報告

小杉理事に代わり玉井主事より、2024 年日本農学賞に永田信会員を推薦したこと、第 22 回日本農学進歩賞に推薦していた東若菜会員が同賞を受賞したことが報告された。

11. ダイバーシティ推進担当からの報告

久保田理事より、第 21 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムでのポスター発表、第 135 回大会における学会企画「若手雇用問題に関する情報交換（仮題）」を開催予定であることが報告された。

12. 林業遺産選定担当からの報告

深町理事より、2023 年度の林業遺産候補の推薦数が 2 件あったこと、今後の選定スケジュール、2023 年度林業遺産事業の林野庁からの後援が承認されたことが報告された。

13. 学協会・社会連携推進担当からの報告

泉理事より、日本学術会議関連の諸連絡を学会 Web ページに掲載したこと、TV 番組への取材協力、青森県のヒバ林に関する問い合わせに対応したこと、第 135 回大会において学会企画「森林科学を学んだらどんな仕事があるのか？」を開催予定であることが報告された。

14. 中等教育連携推進担当からの報告

太田理事に代わり園原主事より、第 135 回大会における第 11 回高校生ポスター発表に発表申し込みが 29 件あったこと、第 11 回高校生ポスター発表の実行委員及び審査委員会の体制、高校生ポスター表彰式の終了後、「高校生対象の大学ツアー」を実施予定であること、森林科学に過去 10 年の高校生ポスター発表を振り返り、今後を展望する記事を掲載予定であることが報告された。

議事録作成者：陣川雅樹，宗岡寛子